

社会福祉学科			社会福祉 専攻			
科目名: 医学一般			担当教員 氏名: 太田 雅也			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	前期	専門科目	講義	選択	社会福祉士国家試験基礎受験資格(選択必修) 保健医療ソーシャルワーカー受験資格
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
社会福祉士として働く専門職が、心得ておかなければならない医学一般に関する知識について学ぶ。内容は、人の成長・発達と老化、人体の構造と機能、疾病、障害、リハビリテーション、健康と多岐に渡る。						
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 6. 9.	
A 知識・理解力			人体の構造と機能及び疾病と障害について体系的に理解し、知識を身に付ける。			
C 論理的思考力			知識を複眼的・論理的に分析し、表現できる。			
D 問題解決力			問題を固定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、問題を解決する。			
G 倫理観			医学的倫理を知り、それに従って行動する。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 100 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: %		
特記事項:						
アクティブラーニング要素: (課題解決型学習) ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 別に定めた日時にテストを実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 適宜小テストを行い、採点し返却する。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容	学習に必要な時間(分)		
①人の成長・発達と老化			【予習】第1章人の成長について考えてくる 【復習】第1章人の成長についてまとめる	【予習】60分 【復習】60分		
②身体構造と心身の機能(1)(身体の名称、四肢)			【予習】第2章を読んでくる 【復習】第2章についてまとめる	【予習】60分 【復習】60分		
③身体構造と心身の機能(2)(心臓、腎臓、呼吸器)			【予習】第2章を読んでくる 【復習】第2章についてまとめる	【予習】60分 【復習】60分		
④身体構造と心身の機能(3)(消化器、神経、体の調節)			【予習】第2章を読んでくる 【復習】第2章についてまとめる	【予習】60分 【復習】60分		
⑤疾病の概要(1)(悪性腫瘍、脳血管障害、心疾患)			【予習】第3章を読んでくる 【復習】第3章についてまとめる	【予習】60分 【復習】60分		
⑥疾病の概要(2)(生活習慣病、呼吸器疾患、消化器疾患、血管疾患)			【予習】第3章を読んでくる 【復習】第3章についてまとめる	【予習】60分 【復習】60分		
⑦疾病の概要(3)(腎泌尿器疾患、目・耳の疾患、感染症)			【予習】第3章を読んでくる 【復習】第3章についてまとめる	【予習】60分 【復習】60分		
⑧中間まとめ			【予習】①～⑦の復習する	【予習】60分 【復習】60分		
⑨疾病の概要(4)(神経疾患、先天性疾患、高齢者の疾患)			【予習】第3章を読んでくる 【復習】第3章についてまとめる	【予習】60分 【復習】60分		
⑩障害の概要(1)(視覚障害、聴覚平衡機能障害、肢体不自由)			【予習】第4章を読んでくる 【復習】第4章についてまとめる	【予習】60分 【復習】60分		
⑪障害の概要(2)(内部障害、知的障害、発達障害、認知症、精神障害)			【予習】第4章を読んでくる 【復習】第4章についてまとめる	【予習】60分 【復習】60分		
⑫リハビリテーションの概要			【予習】第5章を読んでくる 【復習】第5章についてまとめる	【予習】60分 【復習】60分		
⑬ICF			【予習】第6章を読んでくる 【復習】第6章についてまとめる	【予習】60分 【復習】60分		
⑭健康のとらえ方			【予習】第7章を読んでくる 【復習】第7章についてまとめる	【予習】60分 【復習】60分		
⑮期末まとめ			【予習】⑥～⑭の復習する	【予習】60分 【復習】60分		
使用テキスト: 新・社会福祉士養成講座1「人体の構造と機能及び疾病」			その他参考文献など: 「ぜんぶわかる 人体解剖図」(成美堂出版)			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 高齢者や疾病・障害を持った人に接するにあたり、医学・医療の最低限の知識を身に付ける必要があります。						